

甲府市地球温暖化対策実行計画
(区域施策編)
平成28年度年次報告書

平成30年3月

甲 府 市

目次

第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画について

- 1 実行計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 実行計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 実行計画の計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 4 目標年次と削減目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 5 対象とする温室効果ガスの種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 6 対象とする部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 7 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）・・・・・・2

第2章 2016（平成28）年度の施策の実施状況

- 1 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）進捗状況・・・・4
- 2 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）取り組み状況・・・・14

第3章 施策の検証

- 1 実行計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
- 2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見・・・・・・・・・・42

【資料】

- (1) 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿・・・・・・・・・・44
- (2) 平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）45

第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取り組みを推進し、まちづくりの基本目標の一つである「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる（環境）」〈第六次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した行政を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、本市の都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

3 実行計画の計画期間

- 実行計画の計画期間は、中期2030（平成42）年度*、長期2050（平成62）年度であり、基準年については、2008（平成20）年度としています。

4 目標年次と削減目標

- 実行計画の温室効果ガスの排出削減目標は、基準年の2008（平成20）年度比で
中期目標は、2030（平成42）年度までに、25%削減*
長期目標は、2050（平成62）年度までに、80%削減
としています。

5 対象とする温室効果ガスの種類

- 対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）です。

※ 「3 実行計画の計画期間」及び「4 目標年次と削減目標」の中期目標について、策定当初は『2020（平成32）年度』に設定していました。

6 対象とする部門

- エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。
- 非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等3ガス部門」としています。

7 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

- ・ 6つのアクションプラン

「2050年の甲府市の姿」と長期目標を念頭におきつつ、2030（H42）年度の中期目標の実現に向けた本市の重点的な取り組み（重点プロジェクト）として、温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」に取り組めます。

- ・ 適応策（P38参照）

6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合への対策に取り組めます。

※本実行計画は、東日本大震災直後に策定されたことから、震災以降の社会情勢等の変化を踏まえ、平成27年度に計画の全体的な見直しを行いました。

■ 環境の日及び環境月間とは

6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」（平成5年）が「環境の日」を定めています。

「環境基本法」は、事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるという「環境の日」の趣旨を明らかにし、国、地方公共団体等において、この趣旨にふさわしい各種の行事等を実施することとしています。

我が国では、環境庁の主唱により、平成3年度から6月の一ヶ月間を「環境月間」（昭和48年度～平成2年度までは、6月5日を初日とする「環境週間」とし、全国で様々な行事が行われています。世界各国でも、この日に環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため様々な行事が行われています。

《出典：環境省》

関係者の役割

市民

- 市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイルへの転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

事業者

- 地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との関わりを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

学識経験者

- 地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

N P O

- 各団体の知識や経験、専門性を活かし、日々の暮らしにおいて、地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、再生可能エネルギー施設の設置（市民共同発電等）、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取り組みを支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在となり、市民・事業者・行政との連携の橋渡しの役割を担います。

甲府市

- 市は、積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。
- また、率先して公共施設への再生可能エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。

第2章 2016（平成28）年度の施策の実施状況

1. 重点プロジェクト（6つのアクションプラン）の進捗状況

■目標値が定量化されている取り組みの実績については数値、進捗率については%で表し、また、目標値が定量化されていない取り組みの実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：◎」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

なお、甲府市地球温暖化対策実行計画を平成27年度に見直しを行い、これに伴い目標値を2030（平成42）年度とし、新たに取り組みを平成28年度から行っていますので、双方の実績値は基本的に同等となっています。

アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進				
《人づくり・地域づくり・協働の推進》				
<p>（1）環境教育の推進について、「①幼児・学校教育における環境教育の推進」や、「②地域・家庭における環境教育の推進」では、「キッズISO14000プログラム」「太陽エネルギー体験教室」や各自治会や各種団体等を対象に、出前講座などを実施し、目標を達成しています。また、「③甲府市リサイクルプラザの活用」では、目標値はありませんが、施設を54,860人が利用しており、環境教育の推進が図られています。</p> <p>次に（2）多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）について、「①地域の温暖化防止活動等の推進」では、地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催をしましたが、目標値5回に届きませんでした。「こうふのecoの活性化」及び市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）は温暖化対策情報サイトで周知に努めています。また、「②地域の人材育成」では、地域コーディネーターの人材育成は、未実施となっていますが、今後は環境関連団体等と、協議・検討を行い、地域の温暖化防止活動を先導する人材育成に取り組むと考えています。</p>				
取り組み	目標値		実績	進捗率
（1）環境教育の推進				
①幼児・学校教育における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数			
	2016(H28)年度	1,600人/年	2,040人	127.5%
	2030(H42)年度	24,000人	延べ 2,040人	8.5%
②地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数			
	2016(H28)年度	100人/年	101人	101.0%
	2030(H42)年度	1,500人	延べ 101人	6.7%

③甲府市リサイクルプラザの活用	甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進		(54,860 人利用)	
	【目標値なし】		実施	◎
(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 (産学官民協働の推進)				
①地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催			
	2016(H28)年度	5回/年	3回	60.0%
	2030(H42)年度	75回	延べ 3回	4.0%
	「こうふの eco の活性化」及び市域の温暖化対策の情報発信 (甲府市環境コミュニティの活性化)			
	【目標値なし】		実施	◎
②地域の人材育成	地域コーディネーター数 (単年度目標値なし)			
	2030(H42)年度	延べ100人	0人	0.0%

アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

(1) 太陽エネルギーの活用について、「①太陽光発電システムの導入促進」では、目標を達成していません。これは東日本大震災を受け、一時的に設置台数が増加しましたが、現在は震災前の設置台数に戻った状況です。また、「②市民共同発電の推進」や「③太陽熱エネルギーの活用」では、目標値はありませんが、それぞれに設備が導入されており実施しています。

次に(2) バイオマスエネルギーの活用について、「①バイオマスエネルギーの活用と普及促進」では、「甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度」の活用や普及の促進がされています。果樹剪定枝の活用においては目標値には達していませんが、本市の施設において熱源として活用しました。

(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用、「①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用」では、目標値はありません。現在は山宮減圧槽に設置した小水力発電が継続実施されています。

取り組み	目標値	実績	進捗率	
(1) 太陽エネルギーの活用				
①太陽光発電システムの導入促進	住宅用太陽光発電システムの導入			
	2016(H28)年度	1,100t-CO2/年	464.34t-CO2	42.2%
	2030(H42)年度	16,500 t -CO2	計 464.34t-CO2	2.8%
②市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による推進市民共同発電設備導入	(1件)		
	【目標値なし】	実施	◎	
③太陽熱エネルギーの活用	太陽熱エネルギーの活用の推進太陽熱エネルギー設備の導入			
	【目標値なし】	実施	◎	
(2) バイオマスエネルギーの活用				
①バイオマスエネルギーの活用と普及促進	木質バイオエネルギーの活用推進、木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進、バイオマス資源のエネルギー活用の推進			
	【目標値なし】	実施	◎	
	果樹剪定枝利用量			
	2016(H28)年度	100 t /年	62.62t	62.6%
	2030(H42)年度	1,500 t	計 62.62t	4.2%
(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用				
①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進	地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進・設備の導入			
	【目標値なし】	実施	◎	

アクションプラン3 潤いある森林の整備
《森林整備》

(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）について、「①森林整備の推進」では、甲府市森林計画等の進行管理が適正に行われており、目標を達成しています。また、「②県産材等木材の利用促進」や「③森林の保護、育成に関する意識の醸成」では、目標値はありませんが、水源林植樹の集いや農林業まつりなどが開催されています。

取り組み	目標値	実績	進捗率	
(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）				
①森林整備の推進	森林（市有林、民有林）整備の推進			
	2016(H28)年度	21,500t-CO2/年	21,500t-CO2	100.0%
	2030(H42)年度	322,500 t -CO2	計 21,500t-CO2	6.7%
②県産材等木材の利用促進	県産材等木材の建築物等への利用促進			
	【目標値なし】	実施	◎	
③森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林環境保全イベント等の開催			
	【目標値なし】	実施	◎	

アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動
《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

(1) 省エネ行動の普及促進について、「①省エネ行動の普及促進」では、目標値はありませんが、広報こうふ・温暖化対策情報サイトなどで情報提供を実施しています。また、「②緑のカーテンづくりの推進」では、緑のカーテンづくりセミナーを開催し、目標を達成しています。次に(2)低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進について、「①エコドライブの推進」では、目標値に達していませんが、安全運転研修で「エコドライブについて」の説明を行い、その後の伝達研修により多数に周知されています。また、「②公共交通機関の利用促進」では、目標値はありませんが、甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上で、エコ通勤トライアルウィークへの参加や、やまなし公共交通フェスティバルの開催をしています。エコ通勤優良事業所数は目標を達成しています。「③自転車による環境にやさしい移動の推進」では、目標値はありませんが、「甲府市レンタサイクル事業」の展開と、温暖化対策情報サイトで情報提供を行っており普及啓発に努めています。

取り組み	目標値	実績	進捗率	
(1) 省エネ行動の普及促進				
①省エネ行動の普及促進	省エネ意識の高揚、醸成及び省エネ機器等の情報の提供、発信 エネルギーの見える化による 省エネ行動の実践 COOL CHOICE の普及促進			
	【目標値なし】	一部実施	△	
②緑のカーテンづくりの推進	緑のカーテンづくりイベント 等参加者数			
	2016(H28)年度	100人/年	105人	105.0%
	2030(H42)年度	1,500人	延べ 105人	6.7%
(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進				
①エコドライブの推進	エコドライブの普及促進講習 会等参加者数			
	2016(H28)年度	100人/年	58人	58.0%
	2030(H42)年度	1,500人	延べ 58人	3.9%
②公共交通機関の利用促進	甲府市公共交通体系基本構想 の推進による公共交通機関の 利便性の向上			
	【目標値なし】	実施	◎	
	エコ通勤優良事業所数			
	2016(H28)年度	1ヶ所/年	1ヶ所	100.0%
2030(H42)年度	15ヶ所	延べ 1ヶ所	6.7%	
③自転車による環境にやさしい移動の推進	レンタサイクル等の推進及び 電動アシスト自転車等の普及 促進			
	【目標値なし】	実施	◎	

アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

(1) 建物・機器による省エネの推進について、「①省エネ住宅・施設等の普及促進」では、目標値を大幅に超えており、達成しています。また、「②省エネ機器の普及促進」では、目標値はありませんが、エネファームなどの省エネ機器に対して助成し、普及に努めています。さらに、「③LED照明の普及促進」では、防犯街路灯・商店街街路灯設置への助成や都市公園照明等の改修工事を実施していますが、甲府市の施設でのLED照明交換には時間がかかっています。

次に(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)について、「①都市緑化の推進」や「②農地の活用」、「③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進」では、目標値はありませんが、「花いっぱい・緑いっぱい運動」の地域緑化及び「緑化教室の開催」による家庭緑化の推進や荒廃した農地の再生整備、透水性舗装による改良工事などを実施しています。

さらに(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進について、「①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討」では、目標値はありませんが、リサイクルフェアにおいてクリーンエネルギー自動車を展示し普及啓発を行ないました。「②充電設備の整備、水素ステーションの整備」では、市内に急速充電器8ヶ所、普通充電器30ヶ所が設置されており、今後も充電設備の増加が見込まれます。また、水素ステーションは整備では、市内で1箇所が設置されています。

取り組み	目標値	実績	進捗率
(1) 建物・機器による省エネの推進			
①省エネ住宅・施設等の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量		
	2016(H28)年度	100 t -CO ₂ /年	141.35t-CO ₂ 141.4%
	2030(H42)年度	1500 t -CO ₂	延べ 141.35t-CO ₂ 9.4%
②省エネ機器の普及促進	トップランナー制度の情報提供省エネ機器の導入によるCO ₂ 削減の推進		
	【目標値なし】	実施	◎

③LED 照明の普及促進	公共施設等への率先的な LED 照明の導入による普及促進 (単年度目標値なし) H28 年度：95.04t-CO2			
	2030(H42)年度	4,500t-CO2 (H24 年度から)	延べ 447.47t-CO2	29.8%
(2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)				
①都市緑化の推進	都市緑化の推進 (緑化植樹イベントの開催) 道路・建物のヒートアイランド対策の推進			
	【目標値なし】		実施	◎
②農地の活用	耕作放棄地の有効活用			
	【目標値なし】		実施	◎
③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	建物等のヒートアイランド対策の推進		(舗装面積 1,314 m ²)	
	【目標値なし】		実施	◎
(3) クリーンエネルギー自動車 (電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等) の普及促進				
①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討	クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進			
	【目標値なし】		実施	◎
②充電設備の整備、水素ステーションの整備	充電設備の整備 (単年度目標値なし)			
	2030(H42)年度	急速充電器： 市内 20ヶ所	急速充電器： 8ヶ所	40.0%
		普通充電器： 市内 50ヶ所	普通充電器： 30ヶ所	60.0%

アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化) の推

進について、「①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進」では、生ごみ処理機の購入補助と広報等による普及活動を実施しましたが、目標値に達していません。また、「②資源物排出の利便性の向上」では、目標値はありませんが、甲府市自治連合会と連携を図るなかで24時間ステーションの設置について協議しましたが、設置までに至りませんでした。「③バイオマス資源の循環による活用」においても、目標値はありませんが、EMボカシ、しんぶんコンポストキットの無料配布や廃食油の回収などを実施しています。

取り組み	目標値	実績	進捗率	
(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化) の推進				
①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進	生活系家庭ごみの減量、プラスチック製容器包装の分別回収			
	生ごみ処理機等の普及			
	2016(H28)年度	140件/年	63件	45.0%
	2030(H42)年度	2,100件	延べ 63件	3.0%
②資源物排出の利便性の向上	資源物24時間ステーションを段階的に設置			
	【目標値なし】	未実施	×	
③バイオマス資源の循環による活用	バイオマス資源の循環による活用			
	【目標値なし】	実施	◎	

地球温暖化への適応策	
取り組み	
(1) 健康被害の予防	
適応	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症注意喚起 ・子どもたちを暑さから守るための取り組み ・クールシェアスポットの設置 ・ミスト噴射装置による局所的な気温低減 ・緑のカーテンの設置等 ・水や食物、害虫等が感染源となる感染症の注意喚起 ・光化学スモッグ注意報等の情報提供
<p>○健康衛生課【28-1】：熱中症予防対策（期間 6月～9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページにおいて熱中症の症状や予防、手当てなどの情報掲載、また、熱中症予防情報関連サイトへのリンク ・ポスター掲示、庁舎前大型ビジョンによる普及・啓発 ・健康づくりに関わる地区組織等での健康教室の実施 ・乳幼児健診や母子健康手帳発行時に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発 ・防災無線による注意喚起（28回） ・クールシェアスポットの設置（市関係施設の協力）（24か所） ・スイングポップを掲示し、23か所水のみ場を開設（市関係施設の協力） ・7月と8月の広報誌で普及・啓発 ・ラジオ番組で普及・啓発（2回） ・保健師訪問時普及・啓発 <p>○都市整備課【28-1】：雨水の地下浸透の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国玉通り線改良工事、道路改良工事（市道 出張所前通り線）にて透水性舗装を実施した。 <p>○道路河川課【28-2】：透水性舗装の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道改良工事（2路線）にて、歩道に透水性舗装を実施した。 <p>○学校教育課【28-2】：学校内外の危機管理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策（予防）についての「保健だより」を全児童生徒に配布した。 <p>○業務部総務課【28-3】：熱中症予防対策「クールシェアスポット」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月1日～9月30日の夏季期間中に上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放。希望者には「甲府の水」のペットボトルを配布し、休憩スペースとして活用された。 <p>○区画整備課【施策記載なし】：ミスト噴射装置による局所的な気温低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府駅北口にあるよっちゃばれ広場においてミスト噴霧装置による局所的な気温低減 	

(2) 自然(水)災害	
適応	・甲府市地域防災計画に基づく適切な対策の実施 ・浸水地域の解消 等
<p>○防災課・道路河川課【施策記載なし】 甲府市洪水ハザードマップやわが家の防災マニュアルの配布。また、甲府市防災webで周知を行った。</p> <p>○環境保全課【施策記載なし】 温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、世界各地の異常気象などの情報提供をした。</p>	
(3) 水環境・水資源	
適応	・水源かん養のための森林整備の実施 ・節水や雨水利用の推進
<p>○林政課【28-7】・水保全課【28-1】 「水源林植樹の集い」を実施した。 実施箇所：甲府市御岳町地内（奥御岳市有林）実施日：平成28年6月4日（土） 市民との協働による植樹活動面積0.30ha ミズナラ900本植栽 総参加者数385名</p> <p>○環境保全課【施策記載なし】雨水タンクの普及促進（環境カウンセラー協会での展示等）</p>	
(4) 食料	
適応	・農産物直売所を通じた市内農家への情報提供・技術対策の指導 ・環境変動に対応した生産技術の研究・開発 等
<p>○環境保全課【施策記載なし】 温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供をした。</p>	
(5) 自然生態系	
適応	・必要に応じたモニタリング等による生息域の把握 ・市民への正しい知識と防除方法の啓発活動 ・希少野生生物のモニタリング調査や保護増殖活動の推進 等
<p>○環境保全課【施策記載なし】 温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供をした。</p>	

アクションプラン1

環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

イチオシの取り組み

●児童生徒と取り組む環境問題 【甲府市公立小中学校長会】

《内容》

市内小中学校では、各学校の教育課程に環境教育を位置づけ、環境教育全体計画を作成するとともに、各教科や総合的な学習の時間、児童会・生徒会活動等との関連や横断的な教育活動として、環境教育やエネルギー教育に関し様々な体験的学習を進めています。

具体的には、児童や生徒の目線での身近な生活や自然との関わりの中での環境問題の把握と、子ども達なりの改善策を考えさせる活動を通して、持続可能な社会の構築に向けて地球規模での環境保全に貢献する人づくりを目指しています。

《ポイント》

小中学校では、各教科や総合的な学習の時間において、その学年の発達段階に応じた環境問題を学習します。自分たちの日々の生活の振り返りにより身近な環境問題を捉えるところから始まり、学年が進むと地球規模の環境問題までも学習の対象とすることになります。学校での活動では、まずは自分たちの生活を見直して、その改善により、広い意味で環境保全の一助となるような継続可能な取り組みを行うことで、環境保全に貢献できる人づくりを目指しています。

一例として以下に中道北小での取り組みを紹介します。

中道北小学校では、児童が自分たちの生活の中で取り組めるエコ活動ということで、給食の牛乳パック集めやペットボトルのキャップ集めに日常的に取り組んでいます。牛乳パック集めは給食後に自分のパックを洗って開いたものを教室で乾燥させ、たまったものを給食委員会の児童が回収作業を行い、定期的に環境部の回収に回すという取り組みを行っています。また、ペットボトルのキャップ集めは、各教室に回収箱を設置し日常的にも回収を行っています。ボランティア委員会の取り組みとして、たてわり班ごとの回収量を競わせる活動「エコキャップ大会」を2学期に行っています。H29年度はこの取り組みにおいて、約6キロ入りの専用袋16袋の回収がありました。また、H29年度は、甲府市教育委員会の事業「食品ロス対策事業」の指定の関連として、環境部減量課による「しんぶんコンポスト」にも夏場を中心に



試行的に取り組み、また、同じ事業により、「生ごみ処理機」を設置してもらい、給食室から出る生ごみの処理、液肥の活用を行っています。「しんぶんコンポスト」では日常的な管理の難しさ、「生ごみ処理機」は児童の扱いは難しいという課題もありますが、今後は総合的な学習の時間等の学習にもこれらのものを活用していくことも考えられます。



(1) 環境教育の推進

《取り組みの内容》

① 幼児・学校教育における環境教育の推進

<本市の取り組み>

- ◆市内小中学校の学校林活動への協力(森林体験) :実施 4 校 参加者数 705 名
- ◆市内小中学校環境教育の推進 :実施 36 校
- ◆小学 5、6 年生対象の「キッズ ISO14000 プログラム」 :実施校 2 校、参加児童数 169 名
- ◆保育園・幼稚園児対象のペープサートの上演 :実施 14 園、参加園児数 1,207 名
- ◆小学 4、5、6 年生対象の「太陽エネルギー体験教室」
:実施校 10 校、参加児童数 664 名(NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布 :市内小学校 4 年生に配布 1,700 冊
- ◆ごみへらし隊による保育園・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催
:開催回数 98 回、参加者数 5,209 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨交通株式会社】

- ◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験
:参加学校数 11 校(甲府市内 3 校)、参加児童・生徒数 558 名

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来のイメージ化を図る :実施数 24 校
- ◆循環型エネルギー施設・設備の設置によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる
:実施数 26 校
- ◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科、総合) :実施数 25 校
- ◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施(エコキャップ集め、ごみの分別、牛乳パック回収、ごみ拾い愛町奉仕作業等) :実施数 35 校
- ◆環境教育の継続実施と見直し :実施数 28 校

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコティーチャー等として学習会の開催 :実施回数 10 回、参加児童数 664 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆エコ×エネ子どもキャンプ(やまなし環境財団委託事業)

森の中での楽しみながらの体験を通して、地球温暖化防止の必要性和大切さを学ぶ教室の実施(山梨県内の小学4年生～中学3年生対象) :実施回数2回 参加児童・生徒48人

②地域・家庭における環境教育の推進

<本市の取り組み>

- ◆環境リサイクルフェアの開催 :参加者数 7,800 名
- ◆ごみへらし隊による各自治会や各種団体等を対象に、出前講座(ごみへらしま専科)の開催 :開催回数 137 回、参加者数 4,618 人
- ◆なでしこフェア、リサイクルフェアにおける「もってけ市」の開催 :参加者総数 1,400 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府商工会議所】

- ◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す「eco 検定」の実施 :実施回数 2 回 受験者数 120 人

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆事業者や NPO と連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の充実(環境問題に関する) :実施数 13 校
- ◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、家庭でのクリーン作戦、地域の清掃活動の実施 :実施数 26 校
- ◆親子活動で環境問題に取り組む活動の実施(エコ工作) :実施数 1 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境関連出前講座の実施
「手漕ぎハガキ」、「自然派！お掃除」、「廃食油リサイクル(エコキャンドル作り)」
:講座の開催 3 回 参加者 65 人(全県で 35 回開催 参加者数 1,077 人)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコティーチャー等として学習会等を開催
工作教室等をはじめとするワークショップや、太陽エネルギー他自然エネルギー体験学習を開催
:開催数 19 回 参加者数 1,312 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆光の森こども園における太陽光発電を中心とした園児・保護者向け環境教育の実施
:参加者(園児・保護者)数 88 人
- ◆甲府市環境教育プログラムへの協働
「緑のカーテン」づくりセミナー、小水力発電施設「かわせみ1号」見学会、地球温暖化に関する講演会を協働で実施 :実施回数3回 参加者255人

③ 甲府市リサイクルプラザの利用推進

<本市の取り組み>

◆リサイクルプラザの利用の推進

環境教育に関する教室や講座の開催について、地域及び各種団体等へ利用の推進

:リサイクルプラザ総利用者数 54,860 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆リサイクルプラザを活用しての啓発活動

ミニソーラー工作教室等をはじめとするワークショップや、自然エネルギー体験学習を開催

:開催数 4 回 参加者数 528 人

(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進(産学官民協働の推進)

《取り組みの内容》

① 地域の温暖化防止活動等の推進

<本市の取り組み>

◆事業者・NPO等との協働による環境教育プログラムの実施

:開催数 6 回 参加者数 525 名

◆スマートフロンティア甲府と協働し、企業経営者・起業家向けセミナー「CSV/CSRから地方創生へ～地方・山梨における可能性～」を開催

◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、「緑のカーテン」づくりセミナー、「地球温暖化防止推進セミナー」を開催

:実施回数 2 回 参加者 235 名

◆スマートライフスタイルコーディネーターが自ら発案、企画するスマートプロジェクトにより、地域における省エネの推進や温暖化対策に貢献する取り組みの実施

:実施件数 5 件

◆甲府市環境コミュニティの活性化

温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ行動についての情報提供

:ホームページアクセス件数 :1,312 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆東京電力 HP で、「電気機器の上手な使い方・選び方」のほか、「夏・冬の電気の使い方」など情報提供

【NPO 法人みどりの学校】

◆市民立共同発電所の取り組みについての情報提供

山城ひまわり第1、第2発電所他、設置に協力した発電所を活かした学習会を開催

:開催数 5 回 参加者数 598 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆山梨県内の環境関連団体との連携の拡大

- ① 県内の地球温暖化対策地域協議会との交流会の参加
- ② 「広がれエコスタジアム小瀬」実行委員会との連携
- ③ その他の団体・企業・学校等との連携

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆山梨県環境教育ネットワークの促進のため関係者協議の開催 :開催数 1回 参加者 85名
- ◆山梨県内の地域協議会同士の情報交換会の実施 :開催数 1回

②地域の人材育成

＜本市の取り組み＞

- ◆甲府市とスマートフロンティア甲府が協働で開催する、セミナー等でコーディネーターの養成 :養成者数 1名

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆東京電力 HP で、「電気機器の上手な使い方・選び方」のほか、「夏・冬の電気の使い方」など情報提供

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境省家庭エコ診断制度、「うちエコ診断士」として 2名が継続し登録

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地球温暖化防止活動推進員及び、関連活動を実施している人を対象とした研修会の開催 :開催数 2回 延べ 32名参加

アクションプラン 1 の課題

＜本市の課題＞

- ◆出前講座(森林と水)の開催:校長会を通じて学校に問い合わせをしたが、受講を希望する学校が無かった。
- ◆地域の人材育成について:スマートフロンティア甲府の解散に伴い、H29 年度以降は地域の人材育成を別の方法で検討する。

＜市民、事業者、NPOの課題＞

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆幼児・学校教育における環境教育の推進全般:教育課程への位置づけ(授業、体験教室、地域の清掃活動など取り組みに係る時間をどう生み出していくか)
- ◆地域・家庭における環境教育の推進全般:地域・保護者との連携

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコティーチャー等として学習会等を開催：太陽エネルギー等の体験学習会を計画して行った。地球温暖化防止活動推進センターとの協働の学習会開催は今後の課題となった。
- ◆地域の人材育成：スマートフロンティア甲府が、新規のコーディネーター育成を行えなかった。

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆電力事業者として、電気の使い方等のノウハウを持ち合わせていることから、次世代層を中心に省エネの必要性や日本のエネルギー事情などを伝えていく必要があり、機会をとらえ実施しているが、諸事情から全体的にはHPを活用した周知にとどまっている状況である。

アクションプラン2

再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

イチオシの取り組み

●汚泥焼却炉における重油（化石燃料）を代替エネルギー（木質系補助燃料（ペレット））に転換【甲府市】

《内容》

平成 21 年 9 月に甲府市浄化センターの汚泥焼却炉の投入装置を改修し、砕いた間伐材などを圧縮した固形燃料（ペレット）を投入することで、汚泥焼却処理の補助燃料として使用できるようにしました。汚泥焼却方法は、およそ 850℃に熱せられた珪砂と補助燃料と脱水した汚泥を炉内で流動接触させて焼却を行っています。

《ポイント》

重油（化石燃料）からカーボンニュートラルな代替エネルギー（木質系補助燃料（ペレット））に転換することで、二酸化炭素の削減になり、地球温暖化防止になります。



（１）太陽エネルギーの活用

《取り組みの内容》

①太陽光発電システムの導入促進

<本市の取り組み>

◆民間活力による公共施設への太陽光発電導入事業の実施

国母小学校体育館、南西中学校体育館に設置され、太陽光発電設備が稼働した。

◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度（住宅用太陽光発電システム導入に対する助成）

:助成件数 184 件 総出力量 935.7kw

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆太陽光発電システムの使用【井上鋼材、パイオニア・マイクロ・テクノロジー(株)、パナソニック スマートファクトリーソリューションズ(株)、横河マニュファクチャリング(株)、(株)サンニチ印刷、(株)東日製作所】 :発電量 計 1,219,301kwh パネル枚数 5,364 枚

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆甲府市からの要請に基づく、太陽光発電システムの設置状況データの開示

:情報提供 1 回

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽光発電システム導入やエネルギーの賢い使い方のノウハウの提供。太陽光発電所ネットワークに協力、県内太陽光発電設置家庭の自家消費分を、グリーン電力証書として、甲府市環境リサイクルフェアやヴァンフォーレ甲府の試合でのイベント、および事業所等での使用を促す啓発活動の実施
:実施回数 15回、参加者数 1,524人
- ◆住宅用太陽光発電パネルの相談対応・健康診断
住宅に設置された太陽光発電パネルの不具合等の相談を受け、調査し、メンテナンスの促進
:相談対応 3件(全県で7件)

② 市民共同発電の推進

<本市の取り組み>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO(市民団体)等が実施する自然エネルギー発電設備を設置運営した費用の一部を助成し、CO₂削減の推進 :1件「山城地区市民立共同発電所」
年間発電量 7,103kWh 二酸化炭素削減量 3.49t-CO₂(電気事業者別調整後排出基数 0.000491 使用)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の取り組みについての情報提供(再掲)
山城ひまわり第1、第2発電所他、設置に協力した発電所を活かした学習会を開催
:開催数 5回 参加者数 598人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆光の森こども園太陽光発電施設を活用し、発電量モニタリング結果等開示による導入促進の啓発活動を開催 :開催数 2回

③ 太陽熱エネルギーの活用

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(高効率給湯器等への助成) :助成件数 313件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供
各種学習会・イベントにて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供を行なうほか、「第2回ソーラークッカー全国大会」を他団体と協働し開催 :実施回数 23回 参加者数 2,112人

(2) バイオマスエネルギーの活用

《取り組みの内容》

① バイオマスエネルギーの活用と普及促進

<本市の取り組み>

- ◆汚泥焼却炉における重油(化石燃料)を代替エネルギー(木質系補助燃料[ペレット])に転換
代替エネルギー転換率 :64%
- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(木質ペレットストーブ導入に対する助成)
:助成件数 11 件
- ◆甲府市木質バイオマスエネルギー利用推進庁内検討会議において、木質バイオマス事業の可能性について調査検討 :開催数 2 回
- ◆甲府市のモデル地区におけるぶどうの剪定枝特別収集事業と有効利用
:収集依頼 83 件 収集箇所 147 箇所 収集量 62.62t

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆木質ペレットストーブ 2 台(既存)継続使用(西桂センター、いちのみやセンター)
:ペレット使用量 424(kg)
- ◆組合員からの廃食油を回収し、県内 NPO 法人に引き渡し、バイオディーゼルへの燃料化
:回収量 5,200ℓ

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆廃食油回収、菜の花栽培への協力、啓発活動 :実施回数 2 回 参加者 2 名

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆木質バイオマス燃料を利用している施設への事業者向け見学会の開催(山梨県委託事業)
:参加者数 44 人
- ◆「やまなし木質バイオマス情報交換会」の開催(山梨県委託事業)
:開催数 2 回、参加者数 138 人
- ◆木質ボイラーの設備導入希望者に対し、県外から専門技術者を派遣し、化石燃料との経済性の比較や、導入に対する適正規模等の導入診断 :派遣件数 5 件
- ◆木質ボイラー・ストーブの普及促進のため、小瀬スポーツ公園で開催された森林のフェスティバルへ出展し、木質ストーブの展示実演

【甲府市自治会連合会】

- ◆甲府市のモデル地区におけるぶどうの剪定枝の特別収集に協力
: 4 地区 甲運地区、山城地区、里垣地区、玉諸地区

(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

《取組みの内容》

① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

<本市の取組み>

- ◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽(小水力発電)の運営
:平成28年度総発電量 1,193,911 kWh(597t-CO₂削減)
- ◆「下水道再生可能エネルギー利活用計画(中期長期)」について事業化に向け関係機関と協議を開始

<市民、事業者、NPOの取組み>

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆小水力発電施設(カワセミ1号)の見学会の開催 :開催回数 1回

アクションプラン2の課題

<本市の課題>

- ◆果樹剪定枝の活用:平成24年度からモデル地区においてぶどうの剪定枝の収集を行いエネルギーとして活用策の検討を行ってきた。平成29年度に方針が決定される予定であり、今後の継続実施について検討する。
- ◆上下水道施設における再生可能エネルギーの利活用検討:FIT法が改正され、新たな認定制度が創設された。事業計画策定ガイドラインが平成29年3月に策定されたことにより取組みに至っていない。

<市民、事業者、NPOの課題>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆組合員からの廃食用油回収、市民団体と協働した回収活動の実施:回収した廃食用油の燃料化が困難であり課題となった。

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆バイオマスエネルギーの活用企画提案:バイオマスエネルギーでは取り組めなかったが、木材などの間伐材について利用方法の検討を行った。

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆グループ会社(リニューアブルパワー・カンパニー)では、水力発電所の増容量や効率化による再生可能エネルギーの導入を展開している。
東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社としては、再生可能エネルギーの系統連系を担当しているが、設備容量不足の問題に対しては、国のスキームに則った対応をしているところである。

アクションプラン3

潤いある森林の整備

《森林整備》

イチオシの取り組み

●「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動 【甲府市】

《内容》

市民の水源林は、秩父山系の主峰金峰山の南に広がる森林です。この森林は甲府市水道水源保護地域とされ、「緑のダム」としての重要な役割を担っており、この水源林を次世代に残すため、毎年広葉樹の植樹を行っています。

《ポイント》

甲府市北部森林地域が果たしている役割の重要性や、甲府市の水資源の涵養を果たしている水源林整備の必要性について理解を深めるとともに、市民との協働による植樹を行うなかで、自然環境の保全及びその保護に努めています。



(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

《取り組みの内容》

① 森林整備の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業 :実施面積 6.74ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 :造林面積 1.38ha 下刈面積 7.92ha 除伐面積 4.16ha
- ◆森林病虫害防除事業の実施 :くん蒸処理数量 550.7 m³ 薬剤処理数量 76.8 m³
- ◆間伐材の有効活用 :販売数量 231.2 m³

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【中央森林組合】

- ◆間伐整備(甲府市の民有林で間伐材の搬出) :搬出材積 2,218.07 m³
- ◆民有林の下草刈り :下草刈り面積 63.05ha

② 県産材等木材の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆公共施設への県産材等木材の利用について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で紹介

③森林の保護、育成に関する意識の醸成

<本市の取り組み>

- ◆「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動
:参加者 385 人 植栽面積 0.30ha 植栽本数 900 本
- ◆森林を利用した環境教育の推進
自然とふれあいながら間伐体験やネイチャーゲームを体験する環境教育の実施
:参加者 2 団体 64 人
- ◆農林業まつり(木工体験コーナー)で、親子で木工体験を通じ、木の温かみや大切さを学ぶ
:参加者数 400 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆地域の間伐材を利用した薪づくり
木質ボイラー・ストーブの普及促進を図るため、薪づくり教室の開催 :参加者数 20 人

【中央森林組合】

- ◆里山林の整備
荒廃した里山など、間伐整備により、健全な森林に再生 :再生面積 115.36ha

アクションプラン3の課題

<本市の課題>

- ◆公共施設への県産材等利用について調査・検討を行ったが有効利用までには至っていない。
- ◆地域材の使い方を、今後どうしていくのか。甲府市で出た材をどう使っていく事が出来るのか。

<市民、事業者、NPO の課題>

【中央森林組合】

- ◆森林病虫害防除事業の実施において、松くい虫被害の撲滅を図るのに取り組んでおり、一定の効果はあるが、被害の撲滅までに時間がかかる。
- ◆民有林の森林整備において、所有者が高齢などの為、境界が不明なところがあり、整備ができない場合がある。

アクションプラン4

地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

イチオシの取り組み

●ぶどう等による緑のカーテンづくり 【国母工業団地工業会】

《内容》

国母工業団地工業会では、地球温暖化防止に向けた具体的な行動として、ぶどうやゴーヤによる緑のカーテンづくりに団地内の12社が取り組んでいます。

《ポイント》

ぶどうやゴーヤは、つるが伸びて成長していく性質を利用して、窓辺や壁面に作る自然のカーテンのことです。夏の日差しをさえぎるとともに、繁った葉の蒸散効果で室内の温度を下げしてくれるのでエアコンの使用量が減り、節電・省エネ効果があることや併せて二酸化炭素の発生も減らせるので地球温暖化対策にも役立ちます。また、癒し効果や果実などを食用にできるなどの楽しみもあります。



(1) 省エネ行動の普及促進

《取り組みの内容》

①省エネ行動の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆広報「こうふ」や温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、「スマートライフ通信」の掲載
:掲載数 12回(毎月)
- ◆うちエコ診断事業 :受診世帯 32世帯(27,577t-CO₂削減)

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導くIT活用事業による年間購入電力の削減
:実施事業所数9社

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆東京電力HPで、「電気の上手な使い方・選び方」のほか、「夏・冬の電気の使い方」など情報提供

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆うちエコ診断の実施 :診断件数 5件

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆環境イベント等での普及啓発

環境リサイクルフェア、市民向けセミナーの実施 :参加者数 935 人

◆協議会のウェブサイトにおいて、イベント等の情報更新による周知

:ウェブサイトへのアクセス数 2,147 回

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆全国地球温暖化防止活動推進センター 統一アンケートを各種イベントや教室時に実施

:アンケート調査件数 499 件

◆「地球温暖化防止まずはこんなところから」シートの配布

:配布部数 4,000 部

②緑のカーテンづくりの推進

<本市の取り組み>

◆緑あふれるまちづくり(緑のカーテン)の推進

:苗の配布数 幼稚園等 600 本、小学校 480 本、公共施設 524 本

:緑のカーテンセミナー参加者数 105 人

◆市立甲府病院の壁や窓、上下水道局本庁舎南側に緑のカーテンを設置

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆ぶどう等による緑のカーテンづくりを実施 :参加企業 12 社 カーテン面積 451 m²

【甲府市農業協働組合】

◆ゴーヤによる緑のカーテンづくりの実施 :設置 2 店舗

【甲府市公立小中学校長会】

◆学校等における緑のカーテンづくりの実施 :実施校数 23 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆事業所(本部、甲府センター、一宮センター、西桂センター)での緑のカーテンの実施

:実施事業所数 4 事業所

【NPO 法人みどりの学校】

◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動 :啓発活動 17 回 人数 1,224 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆緑のカーテンの普及促進

緑のカーテンセミナーの開催、セミナー参加者へゴーヤ苗を配布、協議会で栽培した苗を学校・公共施設等に配布、緑のカーテンの実践と普及啓発活動の実施

:緑のカーテン実施本数(配布数) 2,306 苗

③ 甲府市（事務・事業）の率優先的取り組み

<本市の取り組み>

- ◆省エネ法による管理標準の遵守(庁内省エネ推進プランの推進)

(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《取り組みの内容》

① エコドライブの推進

<本市の取り組み>

- ◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施 :参加者数 58 人
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で、エコドライブの実施方法の情報提供
- ◆うちエコ診断でのエコドライブの実施効果の提案 :18 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコドライブの普及啓発活動(各種学習会での情報提供等) :実施回数 5 回、参加者数 192 人

② 公共交通機関の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆やまなしエコ通勤トライアルウィークへの参加 :延べ参加者数 187 人
- ◆山梨県、バス・鉄道事業者と共催により、路線バスの利用促進のためのイベントを開催
:実施回数 1 回 来場者数 5,000 人
- ◆分かりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できるやまなしバスコンシェルジュの普及啓発 :キャンペーン回数 1 回
- ◆公共交通に対する地域主体の取り組みを支援するため、地域説明会を実施 :実施地区 2 地区
- ◆「エコ通勤優良事業所認証制度」について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で周知・普及活動

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営
現行のバスロケーション情報(バス停の位置・バス路線・時刻表・バスの現在の走行位置・乗換経路・最寄の観光情報など)に提供情報を付加するシステム改良を行い、より利便性を向上し、路線バスの利用促進 :サイトへのアクセス件数 約 33,676(回/月平均)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施による CO₂ 削減 :参加者延べ 4 人(655.8kg-CO₂削減)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆公共交通利用の情報提供 :実施回数 10 回、参加者数 664 人

③自転車による環境にやさしい移動の推進

<本市の取り組み>

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」：利用者数 2,705 台
- ◆地球温暖化情報サイト「こうふの eco」で甲府市レンタサイクル事業等について情報提供

アクションプラン4の課題

<本市の課題>

- ◆家庭部門で温室効果ガスの排出を抑制するための一つである「うちエコ診断」の事業が完了するので、別の方法で周知が必要だと考える。

<市民、事業者、NPO の課題>

【甲府市農業協同組合】

- ◆ゴーヤによる緑のカーテンづくり：観賞用と温暖化対策の同時に対応を考え、実施したが、発育状況が悪く成果が得られなかった。

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆緑のカーテンの実施：連作障害か不明だが、うまく育たないところが多く、効果も不明確だった。

アクションプラン5

賢く、快適な低炭素型年構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

イチオシの取り組み

●防犯街路灯の設置及びLED導入等への助成 【甲府市】

《内容》

甲府市では、昭和52年度より、自治会が管理している街路灯の設置費用や維持をする経費等に対し、助成を行ってきました。こうした中、自然環境への配慮をはじめ、維持管理に係る負担軽減を図るため、平成26年度から平成30年度までの5年間で、防犯街路灯のLED化促進期間と定め、時限的に交換費補助金の限度額を増額し、LED灯化に努めています。平成28年度までの3年間で15,625灯の交換が行われ、防犯街路灯の消費電力は、年間およそ1,500キロワット削減されました。

《ポイント》

LED灯交換事業の実施に伴い、促進期間となる平成26年度から平成30年度の5年間については、1灯あたりの補助金の限度額を、1万4千円から2万円に引き上げました。また、1自治会あたり年間3灯の交換灯数制限を廃止し、自治会が管理する街路灯の灯数を上限としました。

実施期間中に補助金を活用することにより、自治会が少ない経費負担で、LED灯の設置や交換を行うことができます。また、



補助の対象となるLED灯は、消費電力が10ワット以下のものでも十分な光量が取れることから、電気代も安くなります。蛍光灯の寿命は約12,000時間ですが、LED灯の寿命は約60,000時間であるので、蛍光灯より電球交換が長期間不要となり、街路灯の維持管理業務を行う自治会の負担軽減にもつ

ながっています。甲府市は、防犯街路灯のLED化を促進することにより、地球環境に優しく、安心して安全なまちづくりに寄与しています。



(1) 建物・機器による省エネの推進

《取り組みの内容》

①省エネ住宅・施設等の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、住宅等における温暖化対策や省エネについて身近で簡単にできる取り組みや、家庭における二酸化炭素排出の「見える化」についての情報提供

②省エネ機器の普及促進

＜本市の取り組み＞（再掲）

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度（高効率給湯器等への助成）：助成件数 313 件

＜市民、事業者、NPO の取り組み＞

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆高効率機器の設置状況の情報提供

【東京ガス山梨株式会社】

- ◆エコジョーズ導入の推進による二酸化炭素削減：CO₂削減量 223(kg-CO₂/台)

③LED照明の普及促進

＜本市の取り組み＞

- ◆防犯街路灯の設置及びLED導入等への助成：補助灯数 3,256 灯
- ◆商店街団体が維持管理する街路灯設置及びLEDへの街路灯変更の補助
：LED街路灯設置 178 灯 電気料の補助 286 灯
- ◆都市公園等の照明のLED化の実施（省エネ・グリーン化推進事業）
：機器導入数 41 灯 CO₂削減量 13.5 t-CO₂
- ◆市が管理する道路照明灯のLED化の実施
：機器導入数 43 灯 CO₂削減量 20 t-CO₂
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、LED照明導入による省エネ効果等について情報提供
- ◆うちエコ診断において、LED照明等の導入効果等の提案：提案件数 9 件

（２）緑あふれるまちづくり（都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）

《取り組みの内容》

①都市緑化の推進

＜本市の取り組み＞

- ◆花いっぱい緑いっぱい運動の推進（6種類の花苗の配布）
：配布団体数 115 団体 配布株数 106,926 株
- ◆緑化教室の開催による「家庭緑化」：開催数 5 回
- ◆多くの公園利用者に自主的な美化活動を行う、公園美化活動団体の設立の促進
：設立団体数 1 団体（計 22 団体）
- ◆生垣設置助成：助成件数 5 件 生け垣の延長 35.9m
- ◆事業所等の緑化指導：助成件数 4 件 面積 557.63 m²
- ◆市保存樹木制度による樹木の指定：指定本数 11 本
- ◆新築記念樹事業の推進：配布数 19 本

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆屋上緑化の実施(本部・一宮センター) :実施事業所数 2ヶ所

【NPO 法人みどりの学校】

◆屋根緑化の情報提供(小瀬エコブースでのエコクイズはじめ、各種学習会にて)

:実施回数 4 回 参加者数 200 人

②農地の活用

<本市の取り組み>

◆荒廃した農地の再生整備

農地の再生利用に向けた機械の貸付を行うとともに、荒廃農地の再生相談等の指導

:再生整備面積 3,488 ㎡

◆市民農園の貸出

小曲市民農園の貸し付け、栽培に関する指導や相談を行なう :農園貸付数 50 区画

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆市民農園的な展開「パルファーム山梨」

組合員の希望者に農園を貸し出し :利用者 8 人 利用区画数 12 区画

③建物・道路等のヒートアイランド対策の推進

<本市の取り組み>

◆透水性舗装の推進を行いヒートアイランド対策

:道路改良工事 実施面積 1,051 ㎡、歩道改良工事 実施面積 263 ㎡

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆駐車場等の透水性緑化舗装の情報提供

:実施回数 4 回 参加者数 200 人

(3) クリーンエネルギー自動車（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等）の普及促進

《取り組みの内容》

①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討

<本市の取り組み>

◆リサイクルフェアでクリーンエネルギー自動車の展示による普及啓発

◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆社有車への電気自動車の導入 :4 社に拡大 電気自動車の台数 6 台

【甲府商工会議所】

◆公用車に、電気自動車を導入し、PR 活動を実施 :電気自動車台数 1 台

【山梨交通株式会社】

◆社用車に、燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施
:燃料電池車導入台数 1 台

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆V2H(Vehicle to Home)普及促進に向け、県の補助金制度について関係団体等へPRの実施 :実施回数 5 回

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆環境にやさしい車の普及 クリーンエネルギー自動車の普及
:協議会員(1 人)によるハイブリット車のモニタリングの実施

② 充電設備、水素ステーションの整備

<本市の取り組み>

◆補助金制度等について温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において情報提供

アクションプラン5の課題

<本市の課題>

◆家庭における照明器具である LED 照明の普及促進について、導入による省エネ効果について、新しい情報提供が必要である。

<市民、事業者、NPO の課題>

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆V2Hの普及に向け、展開を実施しはじめたところである。各市町村の再生可能エネルギーの補助金制度のメニューに入れていただけるよう今後働きかけを実施していきたい。

【パルシステム山梨】

◆屋上緑化の実施:費用対効果等の点で、維持管理が難しい。

【NPO 法人みどりの学校】

◆屋根緑化の情報提供:各学習会の中で少し触れる程度なので、工夫が必要である。

アクションプラン6

持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

イチオシの取り組み

●プラスチック製容器分別回収 【甲府市】

《内容》

甲府市では、「平成30年度の生活系可燃ごみ排出量 市民一人一日当たり480g」とする減量目標を達成するため、プラスチック製容器包装の分別回収を平成28年12月より本格的に開始し、環境負荷の軽減及び資源リサイクルの更なる促進を実現するために取り組んでいます。現在、本市の燃えるごみの排出量は減少傾向にあります。今回のプラスチック製容器包装の回収が、ごみ減量の一因だと考えています。

《ポイント》

甲府市では、笛吹市境川町に、笛吹市・山梨市・甲州市と4市共同でごみ処理施設を建設し、平成29年4月から稼働しています。

本ごみ処理施設の建設に際し、共同で事業を行う3市におきましては、すでにプラスチック製容器包装の分別回収を行っていたことから、甲府市でもこれと歩調を合わせるため、平成28年度12月から、分別回収を実施し、毎週土曜日に「燃えるごみ」と同じ集積場所へプラスチック製容器包装を透明・半透明の袋に入れて出してもらっています。



なお、この分別回収の開始に際しては、チラシの全戸配布や市内小中学校の体育館等で73回の地域説明会を開催するなど、市民への周知に努めたところです。

(1) 廃棄物の3R (Reduce・Reuse・Recycle) の推進

《取り組みの内容》

①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進

<本市の取り組み>

- ◆有価物回収事業 :自治会への報奨金交付件数 375件
- ◆資源回収推進事業 :資源物回収量 4,003t
- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業 :陶磁器製食器回収量 4,726 kg
- ◆リサイクル推進員制度の活用 :活動延べ人員 5,823人
- ◆ミックスペーパー分別回収 :回収量 1,527t
- ◆使用済み小型電子機器回収 :回収量 12.5t

- ◆容器包装廃棄物(紙箱・紙袋・包装紙)の分別回収 :紙製容器包装類回収量 22.3t
- ◆プラスチック製容器分別回収
:その他プラスチック製容器包装回収量 137t(平成 28 年 12 月より市内全地区の回収を開始)
- ◆分別排出普及啓発チラシを作成 :全戸配布(プラスチック製容器包装分別回収啓発用チラシ)
- ◆一般廃棄物収集運搬許可業者に対する事業系ごみの適正処理研修会の開催 :開催数 1 回
- ◆中小規模事業者への訪問調査指導 :訪問調査指導数 1,061 社
- ◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発
:実施回数 1 回 減量化等計画書の提出件数 86 社

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業による共同リサイクル事業、紙類(ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙)の分別回収再利用、廃プラ・木くずの固形燃料化 :紙類回収量 494t 廃プラ木くず回収量 257t

【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品原料(トイレtpーパー等)として利用、リサイクルの啓発 :古紙回収量 81,399 kg

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆容器の回収(率)
リユースびん[65.9%]、紙(牛乳)パック[72.8%]、ABパック[28.5%]、商品案内(カタログ)[86.6%]、注文用紙[91.2%]、ポリ袋[36.2%]、たまごパック[87.0%]、食材セットトレイ[69.2%]、ペットボトル[54.5%]

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆ごみ減量化対策についての具体的施策の検討 :検討会回数 1 回

【甲府市自治会連合会】

- ◆分別の徹底によるごみの減量化(ミックスペーパー) :有価物回収量 1,717.5t

②資源物排出の利便性の向上

<本市の取り組み>

- ◆資源物24時間ステーションの設置
:甲府市自治会連合会と連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行い、整備を進める

③バイオマス資源の循環による活用

<本市の取り組み>

- ◆下水汚泥焼却灰の再利用 :焼却灰搬出量 725.8t
- ◆家庭で不用になった食用油の分別回収 :廃食油回収量 6,740ℓ
- ◆生ごみ処理機購入補助 :補助件数 63 件
- ◆生ごみ発酵促進剤 EM ボカシ配付 :ボカシ配付実数 24,625 袋

- ◆しんぶんコンポストキットの無料配付 :657 件
- ◆剪定枝・落ち葉や廃食用油などのバイオマス資源の活用
:落葉堆肥化キット配付 1 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化及び、廃食用油の回収
:生ごみ発生量 15,076kg (5 社で取組み) 廃食用油回収量 4,345ℓ (2 社で取組み)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆菜の花の栽培、種の収穫 :実施回数 2 回
- ◆廃食油回収 :回収量 515ℓ

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆生ごみの資源化の情報提供
各種学習会において、食品残さの減量、コンポスト、EM ポカシ等の発酵促進剤による生ごみの資源化
についての情報提供 :実施回数 4 回、参加者数 751 人

アクションプラン6の課題

<本市の課題>

- ◆有価物回収を行っている自治会員の高齢化が顕著であり、事業を廃止、縮小するなど全体的に回収量が減少傾向にある。
- ◆資源物24時間ステーションの設置について、自治連合会との連携を図る中で、候補地の選定や協議を行っているが、設置まで至らなかった。

<市民、事業者、NPO の課題>

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆公立小中学校においては、可燃物とミックスペーパーの分別を行っているが、プラスチックごみの分別は行っていない。今後、子どもたちにもごみ減量を意識させるためにも取り組む必要があると考える。

地球温暖化への適応策

各分野における適応策の方向性

(1) 健康被害の予防

影響	<p>熱中症による救急搬送患者が増加し、特に高齢者や子どもは重症化のリスクが高くなることや、マラリヤやデング熱などの感染症の増加等が懸念されます。</p> <p>特に熱中症のリスクは、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、暑さに対する体の調節機能が低下する高齢者において、高くなります。</p>
----	--

《取り組みの内容》

＜本市の取り組み＞(再掲)

- ◆市ホームページにおいて熱中症の症状や予防、手当てなどの情報掲載、また、熱中症予防情報関連サイトへのリンク
- ◆ポスター掲示、庁舎前大型ビジョンによる普及・啓発
- ◆健康づくりに関わる地区組織等での健康教室の実施
- ◆乳幼児健診や母子健康手帳発行時に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発
- ◆防災無線による注意喚起(28回)
- ◆クールシェアスポットの設置(市関係施設の協力)(24か所)
- ◆スイングポップを掲示し、23か所水のみ場を開設(市関係施設の協力)
- ◆7月と8月の広報誌で普及・啓発
- ◆ラジオ番組で普及・啓発(2回)
- ◆保健師訪問時普及・啓発
- ◆透水性舗装の推進を行いヒートアイランド対策
:道路改良工事 実施面積 1,051 m²、歩道改良工事 実施面積 263 m²
- ◆熱中症対策(予防)についての「保健だより」を全児童生徒に配布(36校)
- ◆6月1日～9月30日の夏期期間中に上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放
- ◆甲府駅北口にあるよっちゃんばれ広場においてミスト噴霧装置による局所的な気温低減

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆職員会議において熱中症の症状や予防、手当などについて養護教諭から説明させ、教職員への周知を図った。
- ◆水筒を持参させ、体育や野外での活動の際には、こまめに水分補給の時間をとるなど、指導上の共通理解を図った。特に、のどが渇いてからの摂取ではなく、活動時の事前摂取を徹底させた。
- ◆保健だよりや家庭への通知を養護教諭に作成させ、保護者への啓発を図った。
- ◆体育館及び校庭において毎日 WBGT の測定を行い、熱中症が心配される日は、体育授業や休憩時間の外遊びの制限、放課後の部活動等への配慮を行った。

- ◆特に放課後の部活動においては、適度な休憩と給水への配慮を徹底させた。
- ◆緑のカーテンの設置
- ◆注意喚起のための校内放送(保健委員会)
- ◆ミスト噴霧装置による局所的な気温低減
- ◆塩分チャージ等の常備
- ◆児童への熱中症予防指導(帽子着用、水筒での水分補給、汗ふきタオル持参)
- ◆校舎内に熱中症の原因と予防法についての掲示物
- ◆学校保健委員会での校医による指導
- ◆学校だよりや学校ホームページにおいて熱中症の症状や予防などの情報掲載
- ◆危機管理マニュアルへの記載と熱中症予防指針による全校児童への啓発
- ◆市教委からの通知やファックスでの指示に基づき、学校からの通知や学年だより等で、具体的な予防方法について家庭へ協力を依頼した。
- ◆学級ベランダへ遮光カーテンの設置 全学級
- ◆扇風機の使用による効果的な冷房対策を行った。
- ◆集会、体育等のとき、水筒の携行。
- ◆3校時30度以上や高湿度時、エアコンで教室内の気温と湿度を下げる。
- ◆夏休み中の屋外での帽子の着用及び、プールや図書館への登校の際の水筒の携帯等を通知で徹底
- ◆早い時期から水筒を持参させたり、教職員や保健委員会児童の呼びかけをすることにより、熱中症への注意喚起が効果的にできた。熱中症対策への児童の意識も高まった。

(2) 自然(水)災害

影響	近年、気候変動の影響による局地的な集中豪雨により、甚大な豪雨・洪水の被害が発生しています。今後も、その頻度が増し、河川洪水の機会が増加することが予測されます。
----	---

《取り組みの内容》

<本市の取り組み>(再掲)

- ◆甲府市洪水ハザードマップやわが家の防災マニュアルの配布。また、甲府市防災webで周知を行った。
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、世界各地の異常気象などの情報提供をした。

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆災害時に、電気やガスなどのインフラが止まった場合を想定して、含水率の低い薪の備蓄を推進。また、災害拠点などに、備蓄の薪と併せて薪ストーブの設置を推奨した。

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆防災マニュアルに豪雨・洪水への対策等を記載、見直し確認を行った。
- ◆「災害発生時の留意点」において連絡体制は緊急業務について記載した。
- ◆保護者に「緊急時対応マニュアル」を配布し、災害発生時の児童を保護者に引き渡す方法等について周知した。

- ◆防災地図を作成し、年度当初及び予報に応じて教職員に周知徹底した。
- ◆安全マップに洪水危険箇所明示した。
- ◆地域防災マップ、地域安全点検マップを作成し、水路等を示して確認した。
- ◆地域の危険箇所点検を月に一度行った。
- ◆豪雨時の通学路における危険箇所の確認と周知徹底した。
- ◆豪雨時の登下校についての指導をした。
- ◆引き渡し訓練の際、いっしょに帰りながらチェックし、報告をしてもらう。
- ◆児童引き渡し訓練時に、校長の話の中で、「甲府市防災ハザードマップ」を引用し、学区の水害について注意喚起を行った。
- ◆集会等で大雨の際の危険について話をするとともに、緊急下校訓練を実施した。
- ◆地域の見守り隊など諸団体との連携のもと、危険箇所の確認を行った。
- ◆豪雨による用水路の増水の恐れのある場合の、登下校指導のための校内体制を整えた。同時に地区消防団等との連携も行い、水かさの点検等の協力も得た。
- ◆注意報が発令されるなど、豪雨や洪水が予想される場合には、随時職員打ち合わせを行い全校体制での対応の徹底を図った。
- ◆登校や下校時に、警報やそれに準ずる危険が予想される場合は、保護者の迎えや教職員の付き添い等を図る。
- ◆危険な状態の時は、保護者とスクールガードの代表者にメールで状況を一齐送信で知らせ、対応をお願いする。
- ◆生徒の登校する前には教職員で学区を巡回し危険箇所の有無を確認するとともに、登下校時には教職員が通学路で安全な登下校の見守り指導を行った。
- ◆事後に必ず生徒・保護者・地域住民からの情報把握を行い、新たな危険箇所の周知と確実な避難行動の徹底に生かすよう努めている。
- ◆各学級で、増水時の河川・側溝の水流の恐ろしさを、プールの水泳学習の際に体験させて意識付けを図った。

(3) 水環境・水資源

影響 気候変動による渇水や洪水などの水環境・水資源へのリスクが高まります。

《取り組みの内容》

<本市の取り組み> (再掲)

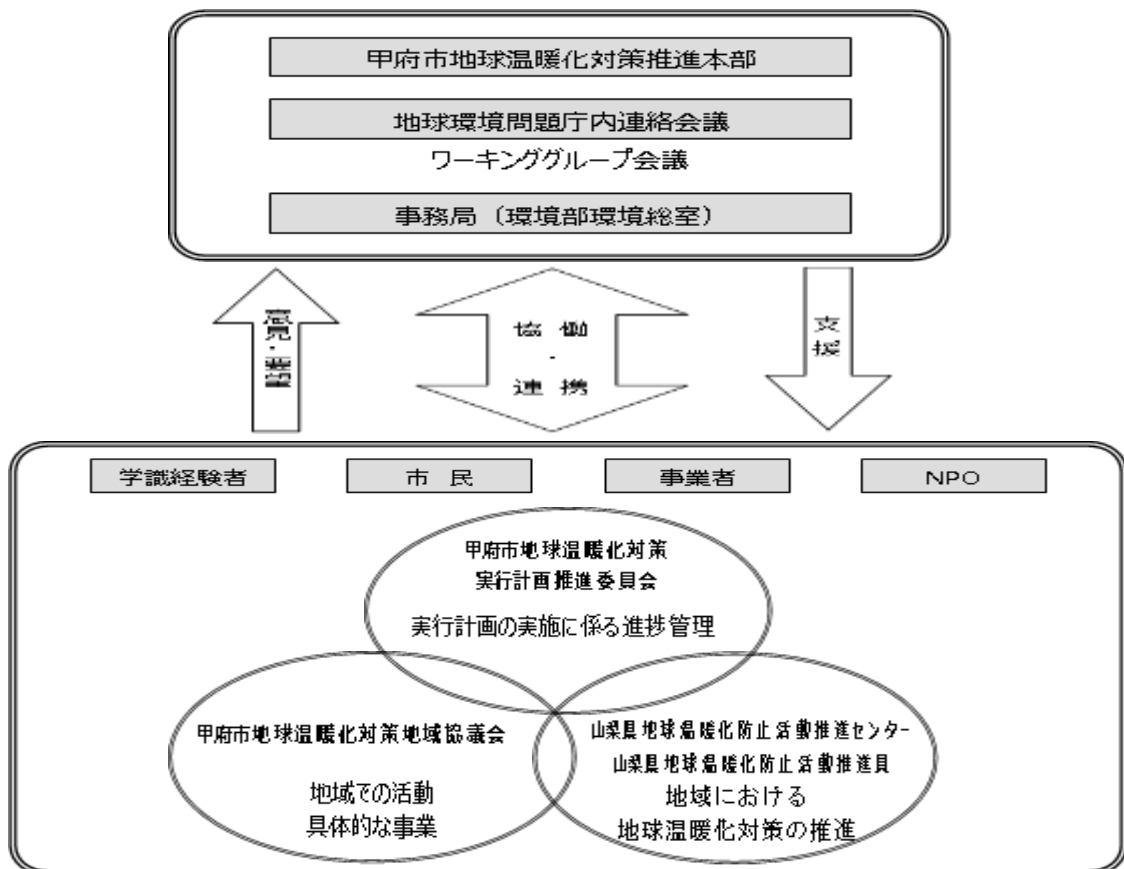
- ◆甲府市御岳町地内(奥御岳市有林)市民との協働による植樹活動「水源林植樹の集い」を実施した。
面積 0.30ha ミズナラ900本植栽 総参加者数385名
- ◆雨水タンクの普及促進(環境カウンセラー協会による展示等)。

(4) 食料	
影響	<p>コメ、野菜、果樹等の品質低下(巨峰系品種の着色遅延、収穫期や収穫に近い品種の一部で果梗部の褐変、果粒の軟化など)の影響が懸念されます。</p>
<p><本市の取り組み>(再掲)</p> <p>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供をした。</p>	
(5) 自然生態系	
影響	<p>地球温暖化は生物多様性の危機の一つと考えられ、これまで生息していた生物の生息域が変化し、私たちの身近な生活にも影響を及ぼします。</p>
<p><本市の取り組み>(再掲)</p> <p>◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供をした。</p>	

第3章 施策の検証

1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取り組みに遅れがある場合は改善策を検討します。
- 市内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 市内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。



甲府市地球温暖化対策実行計画の推進体制

2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 平成 28 年度の「市の取り組み」及び「市域での取り組み」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。
- いただきましたご意見等を踏まえ、実行計画の施策や取り組みを推進していきます。

全体に対する意見
<ul style="list-style-type: none">■目標値を新規導入分の削減量だけでは、どれだけCO2が削減されたのか不明なところがあり、出来るのであれば、合計の削減量と新規導入分の削減量の数値にした方がよい。■それぞれのアクションプランの目標に対して、この年度は何がどこまで出来て、全体としてどう評価できるのか、課題は何なのかというところを報告書に記載できるといいかと思う。現在の報告書が資料編となり、本編として「実行計画はこのように進んでいます」となれば一般の方にも分かりやすい報告書になると思う。■アクションプランの検証については、参加した部会でないとわからない内容になっているのでもう少し分かりやすい工夫をしてほしい。■各アクションプランにおいて、これだけの事業数があり、このような取り組みが行なわれ、良い点・課題が記載してあると、議論の幅がでると思う。
アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 《人づくり・地域づくり・協働の推進》
<ul style="list-style-type: none">■甲府市リサイクルプラザの活用にある「環境教育講座やイベント等の実施」は、目標値として具体的にはないが、実績のあるものについては、「目標値なし」と記載し、何人参加と表記した方がよい。なお、進捗率については記載不要。■目指す「2050年の甲府市の姿」のイメージ化を、具体的にどのような方法で児童・生徒が図るのか。
アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<ul style="list-style-type: none">■山城の市民立共同発電所は太陽光パネル設置箇所において、CO2削減を図るという事であれば、年間発電量と二酸化炭素の換算値を取組みに記載するとよい。そのようにして整理をして積み上げていくと解かり易くなる。■転換後のCO2削減量を数値化ができればよいと思う。
アクションプラン3 潤いある森林の整備 《森林整備》
<ul style="list-style-type: none">■地域の木材の使い方を、今後どのようにするか。甲府市で出た木材をどのように利用が出来るか、協議により具体的に出来たらよいと思う。

<p>アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ うちエコ診断は相当有効な取り組みだが、実際は甲府市だけでなく全国的にあまり使われていないというのが現実だが、家庭でうちエコ診断を実施していただくと省エネに繋がることが出来るはずなので、実施を検討した方がよい。 ■ 事業者向けの省エネのアドバイスとして、無料で行なう中小企業エネ診断がある。 ■ エコ通勤優良事業所認証制度の活用について、温暖化対策情報サイト「こうふのeco」で情報提供をしているとあるが、周知方法を、さらに検討していく必要がある。 ■ 葡萄の木の成長はそんなに速くないけれど、一度植えておくと毎年成長する。ゴーヤや朝顔は毎年植えなければならない。
<p>アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型年構造への転換</p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 屋根緑化の情報提供で、最近甲府市の気温も上がってきており、屋上についてはスペースも取れるので緑化しやすいと思う。
<p>アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築</p> <p style="text-align: center;">《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ プラスチック製容器の回収量は増えているので、最後の報告書をまとめる際に経過を説明出来ればよいと思う。 ■ 高齢化となった場合は、資源物24時間ステーションの方がよい。いつでも搬出ができ、規定された日に、分別する必要がないので、設置を進めるべきだと考えている。 ■ その他プラスチック製容器包装回収について、更なる情報の周知と回収の徹底を行う。

3 Act（改善）の方向性

■平成28年度は、実行計画の見直しを行い、6つのアクションプランと適応策で構成され、緩和策とともに適応策についても、多様な担い手による取り組みがさらに重要となる。これまでの重点プロジェクトを継承する6つのアクションプランにおいて、数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では未実施や取り組みが進んでいない項目もある。それらの取り組みについては、それぞれの状況や課題等を把握し、中長期的な展望の上、地域の特性や実情を踏まえた検討により、より実効性のある取り組みにより市域の温室効果ガス削減を目指す。

また、本報告書の有効活用を含め情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ周知されるよう、市民、事業者等への情報提供、共有についても推進していく。

【資料（1）】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

（委嘱期間：平成 28 年 11 月 26 日～平成 30 年 11 月 25 日）

代表区分	氏 名	所 属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木 嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦 一哉	公立大学法人山梨県立大学 教授
	杉田 真一	山梨県エネルギー局エネルギー政策課 課長
地域関係者	萩原 爲仁	甲府市農業協同組合 代表理事専務
	末木 英明	中央森林組合 代表理事副組合長
	高根 明雄	協同組合同母工業団地工業会 専務理事
	河西 光雄	甲府商工会議所 環境問題委員会 副委員長
	望月 真	山梨交通(株) 総務部 部長
エネルギー 供給者	有馬 徹	東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社 渉外担当課長
	梶山 禎秋	東京ガス山梨(株) 常務取締役
教育関係者	横内 公	甲府市公立小中学校長会 中道北小学校長
市民団体	梅原 隆子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤 公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	石井 迪男	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾 健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会)
	志沢 美香	やまなし木質バイオマス協議会 事務局
市民代表	加々美 富明	甲府市自治会連合会副会長 (環境委員会 委員長)

【資料（2）】

平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

重点プロジェクト		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ）</p>	<p>アクションプラン1</p> <p>環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進 《人づくり・地域づくり・協働の推進》 (環境教育・生涯学習・協働)</p>	<p>1. 環境教育の推進 2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 (産学官民協働の推進)</p>
	<p>アクションプラン2</p> <p>再生可能エネルギーの導入・普及促進 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》 (再生可能エネルギーの導入)</p>	<p>1. 太陽エネルギーの活用 2. バイオマスエネルギーの活用 3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用</p>
	<p>アクションプラン3</p> <p>潤いある森林の整備 《森林整備》 (森林の整備)</p>	<p>1. 潤いと光あふれる森づくり (森林整備)</p>
	<p>アクションプラン4</p> <p>地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動 《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》 (ライフスタイルの転換)</p>	<p>1. 省エネ行動の普及促進 2. 低炭素型の移動 (スマートムーブ)の推進</p>
	<p>アクションプラン5</p> <p>賢く、快適な低炭素型都市構造への転換 《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》 (低炭素な都市への転換・緑化の推進)</p>	<p>1. 建物・機器による省エネの推進 2. 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進) 3. クリーンエネルギー自動車の普及促進</p>
	<p>アクションプラン6</p> <p>持続可能な循環型社会の構築 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》 (持続可能な社会の形成)</p>	<p>1. 廃棄物の3R (Reduce・Reuse・Recycle)の推進</p>
	<p>地球温暖化への適応策</p>	<p>1. 健康被害の予防 2. 自然(水)災害 3. 水環境・水資源 4. 食料 5. 自然生態系</p>

緩和策（6つのアクションプラン）

適応策

※サステイナブルな社会『持続可能な社会』

甲府市地球温暖化対策実行計画
平成 28 年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境保全課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4
TEL055-241-4312 FAX055-241-6190

甲府市ホームページ

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふの eco」

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/index.html>